

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

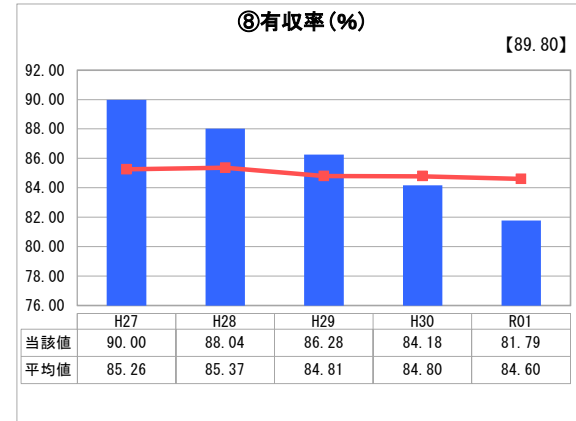
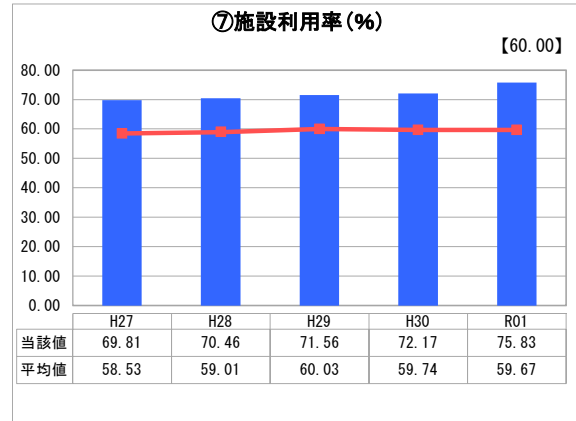
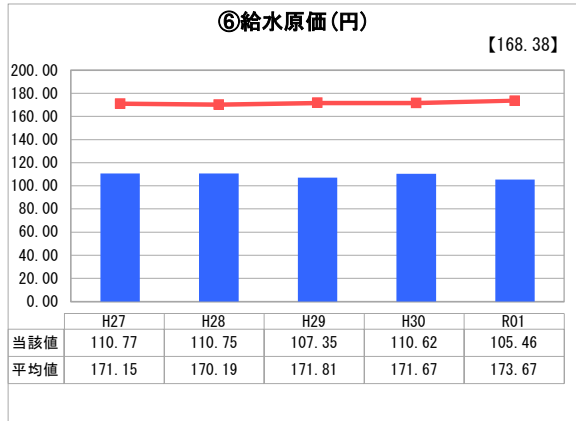
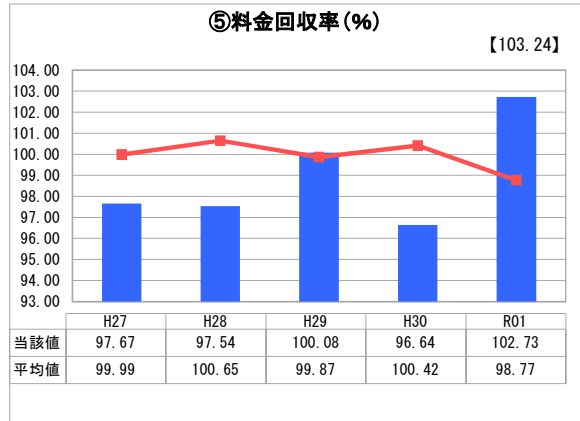
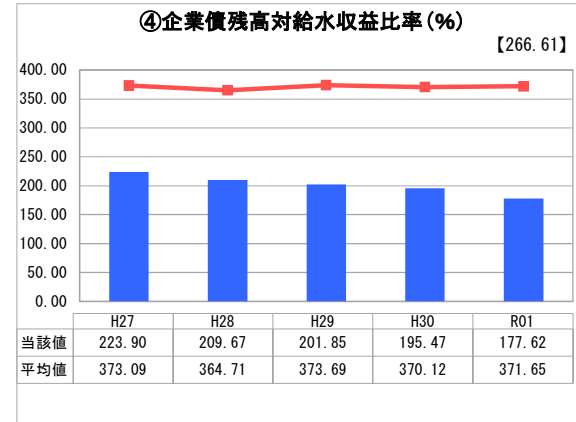
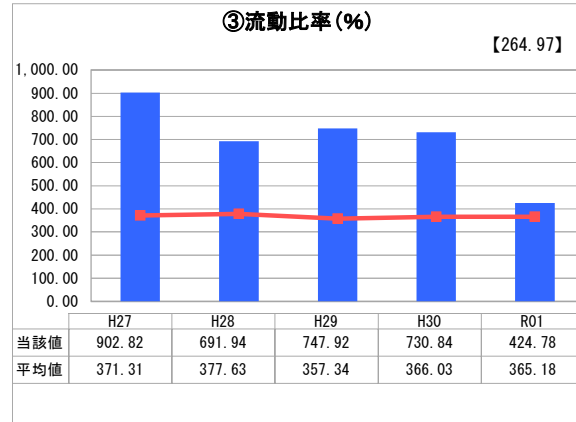
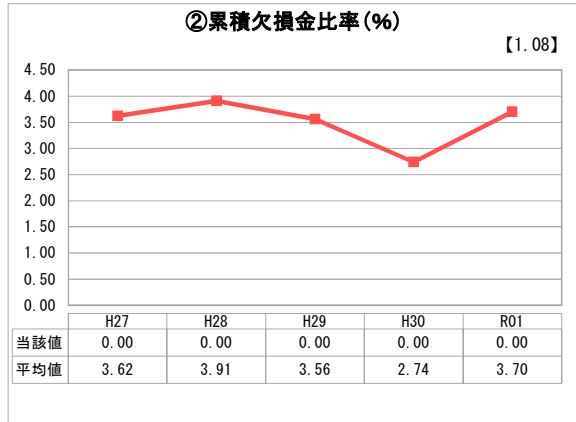
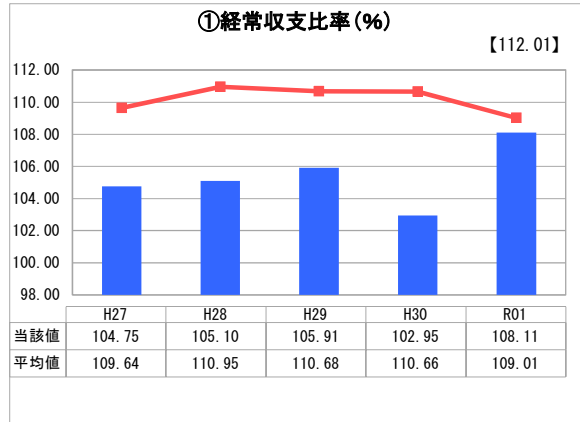
神奈川県 南足柄市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	84.05	97.73	1,595	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
42,195	77.12	547.13
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
40,974	19.05	2,150.87

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

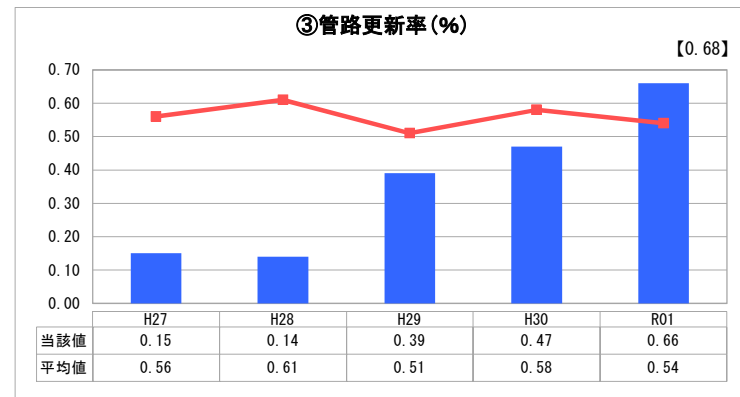
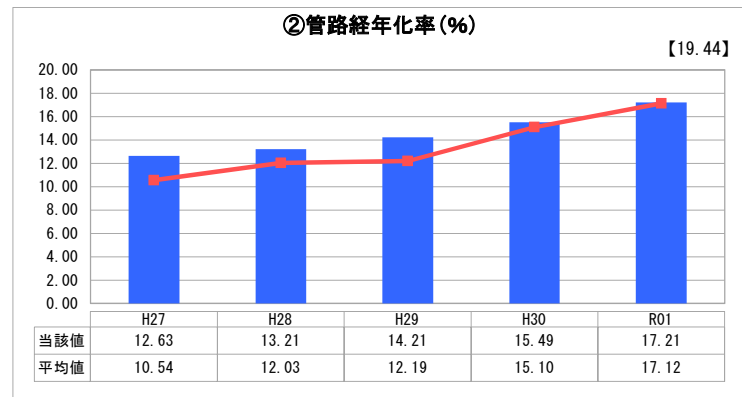
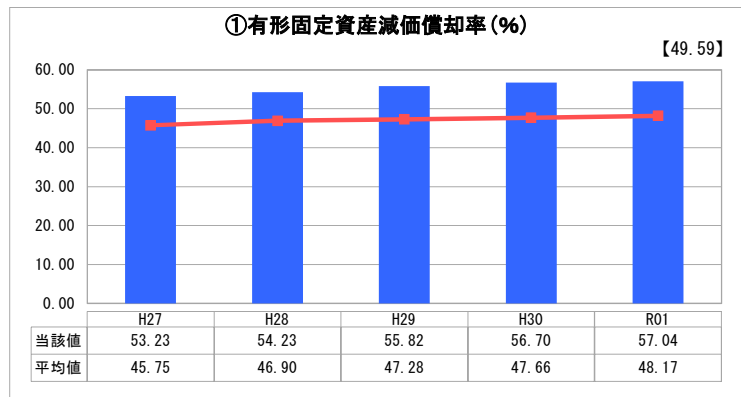
### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%を超え、類似団体や全国平均よりやや低いも、② 累積欠損がない状態であるため安定した経営状態であると言えます。  
 ③ 流動比率は、当年度においては、年度末時点での支払額が多く残っていたため低くなりましたが、短期的な債務に対する支払い能力はまだ十分にある状態です。  
 ④ 企業債残高対給水収益比率は、資金的に余裕があるため、類似団体より低い状態で維持していますが、今後の投資規模の拡大により高くなることを見込まれます。  
 ⑤ 料金回収率も給水収益の増加により100%を超えていますが、水需要の減少傾向は全国同様に避けられない状況や、更新工事の実施による費用増加の影響を受け、今後は微減傾向となる見込みです。  
 ⑥ 給水原価が類似団体の平均より安価な状態は以前から変わりありません。理由としては、本市が表流水と地下水の両方を水源としていることや、立地条件によるものと考えられます。  
 ⑦ 施設利用率は比較的高い比率であるため、水道施設を有効に活用していると言えます。  
 ⑧ 有収率は、令和元年度は台風19号の影響を受け、かなり低い比率となっていますが、複数年にわたり有収率の向上を図っているところです。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、類似団体の平均より高い水準となっており老朽化が進んでいます。償却期間が短い機械類が多くあるため、更新を計画的に実施しているところです。  
 ② 管路経年化率は、類似団体同様に上昇傾向となっていることから、③ 管路更新率の向上を図るためにも計画的な更新工事を実施しているところです。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

新規需用者により給水収益は増加しましたが、人口減少や節水機器の普及による水需要は減少傾向となっているため、経営状態は安心できません。また、本市の特徴として多量需用者の動向に大きく影響を受けるため、全体的に注視してまいります。施設や管路の老朽化対策として、計画的に更新を進めているところですが、財政推計により近い将来、現行料金では経営が厳しくなることが予測されます。料金改定の適切な時期を見極め、準備を整えてまいります。